人間科学部心理学科　カリキュラムツリー

	ＣＰ	１年		２年		３年		４年	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
A-2　人間一般の心の機能について説明することができる。	A-2　「基礎専門に関する科目」や「応用専攻科目(認知領域)」等を中 心に、認知心理学に関連する基礎から応用に至るまでの知識を修得するための科目を1年次より系統的・段階的に配置する。	◎心理学概論I		◎知覚･認知心理学I	知覚･認知心理学II		実験心理学 神経･生理心理学 学習･言語心理学		
A-3　人間の生涯にわたる成長や発達について説明することができる。	A-3　「基礎専門に関する科目」や「応用専攻科目（教育・発達領域）」等を中心に、教育心理学及び発達心理学に関連する基礎から応用に至るまでの知識を修得するための科目を1年次から系統的・段階的に配置する。	◎心理学概論Ⅱ	◎発達心理学I		発達心理学II		教育･学校心理学 老年心理学 社会･集団･家族心理学III キャリア発達心理学		
A-4　日常場面や産業場面において、他者との関わりや状況の影響を受ける人間行動について説明することができる。	A-4　「基礎専門に関する科目」や「応用専攻科目(社会・産業領域)」　等を中心に、社会心理学に関連する基礎から応用に至るまでの知識を修得するための科目を1年次から系統的・段階的に配置する。		◎社会･集団･家族心理学I	社会･集団･家族心理学II 消費者行動心理学	◎教育心理学 マーケティング	対人関係心理学 産業･組織心理学I			
A-5　心身の健康･ストレス、および心理的援助に関する基本について説明することができる。	A-5　「基礎専門に関する科目」や「応用専攻科目(臨床領域)」等を中心に、臨床心理学に関連する基礎から応用に至るまでの知識を修得するための科目を1年次から系統的・段階的に配置する。			◎臨床心理学概論	心理学的支援法 スポーツ心理学	感情･人格心理学 健康･医療心理学	司法･犯罪心理学 産業･組織心理学II 精神疾患とその治療 障害者･障害児心理学		
A-6　心理学の基礎的な手法である研究技法や測定技法、分析技法の知識を習得し説明することができる。	A-6　「研究法に関する科目」や「実験・実習に関する科目」等を中心に、心理学における基礎的な手法に関する知識と技能を身に付けるための科目を1年次及び2年次を中心に配置する。	◎心理学研究法	心理学研究法各論I	心理学研究法各論III 研究情報収集法	心理学研究法各論II 心理学英語文献講読	消費者行動研究法 心理演習(検査)			
A-7　実践場面や心理学的支援において必要となる、隣接する関連分野の知識を習得し説明することができる。	A-7　「応用専攻科目(臨床領域)」等を中心に、実践場面や臨床場面で必要となる基本的知識や技能を身に付けるための科目を1年次から配置する。		人体の構造と機能及び疾病	公認心理師の職責 関係行政論					
B-2　心理学的な視点から、グローバルな事象について考察することができる。	B-2　「応用専攻科目(文化・環境領域)」等を中心に、文化や環境と人間の行動やこころとの影響過程について理解し、心理学的な視点から考察する能力を身に付けるための科目を1年次から系統的・段階的に配置する。		◎文化心理学			環境心理学	日本人の心理		
B-3　コミュニケーション能力およびカウンセリングマインドを身に付け、対人関係の支援や円滑な人間関係の構築･維持に活用すること ができる。	B-3　「応用専攻科目(臨床領域)」及び「実験・実習に関する科目」等　を中心に、対人場面や心理学的支援において有効なコミュニケーション能力や心理学的技法を身に付けるための科目を2年次及び3年次を中心に配置する。	◎基礎演習			心理的アセスメント 臨床カウンセリング心理学		コミュニケーション心理学 心理演習(面接)		
B-4　身の回りの事象の中から心理学的な課題を発見し、課題解決に適切な研究計画を立案し研究を実施することができる。	B-4　「研究法に関する科目」や「実験・実習に関する科目」等を中心に、人間行動について科学的・客観的に思考し検証する上で必要な実践的知識と技能を身に付けるための科目を2年次及び3年次を中心に配置する。			◎心理学実験I 心理学文献講読	心理学実験II				
B-5　心理データを適切な統計手法により分析し、その結果を読み解いてわかりやすく人に伝わるよう表現できる。	B-5　「研究法に関する科目」や「実験・実習に関する科目」等を中心に、統計的な分析とプレゼンテーションに関わる実践的知識と技能を身に付けるための科目を1年次から系統的・段階的に配置する。	◎心理学統計法Ⅰ	心理学統計法II			心理学統計法III			
C-2　日常生活や身近な事象から発見した課題を、心理学的方法に基づいて科学的に検証し解決することができる。	C-2　「演習・卒業論文に関する科目」や「実験・実習に関する科目」等を中心に、身に付けた専門性を活かして実践的・模擬的な課題解決を体験し実践力を身に付けるための科目を3年次及び4年次を中心に配置する。						消費者行動分析実習	◎演習II(A) △卒業研究A/△卒業研究B	◎演習II(B)
C-3　修得したコミュニケーション能力を、さまざまな実践場面で活用することができる。	C-3　「演習・卒業論文に関する科目」や「実験・実習に関する科目」等を中心に、身に付けた専門性を活かして実践的・模擬的な対人場面や支援場面を体験し実践力を身に付けるための科目を3年次及び4年次を中心に配置する。					◎演習I(A) △プレゼンテーション法	◎演習I(B)		
D-2　人間についての多面的理解を、自身や身の回りの人の心身の健康や幸福な人生のために役立てることができる。	D-2　「応用専攻科目」等を中心に、5領域にわたる幅広い領域の心理学を理解するための講義科目を1年次から系統的・段階的に配置する。					福祉心理学			
D-3　的確な情報収集と分析に基づいた客観的な観点から自他の置かれた状況や社会的な現象を捉えようとすることができる。	D-3　「実験・実習に関する科目」等を中心に、課題解決型の実習科目を2年次から4年次にわたって配置する。					心理学調査実習			
D-4　心理学的支援に求められる基本的な知識と技術(傾聴、アセスメント)を身につけ、心の援助を必要とする人や社会に対して適切な支援をすることができる。	D-4　「心理演習」や「心理実習」等、心理学的支援に貢献できる実践力を身に付けるための臨床実践科目を3年次から4年次にわたって配置する。							心理実習	

※◎は必修科目、△は選択必修科目を表す。